

地域が主役のまちづくり
地域サポーターの紹介

水子貝塚資料館

049-251-9088



あきお 中村 彰男さん
(上沢在住)

水子貝塚資料館 市民学芸員

「ありがとう」のひと言は
活動の喜び

サラリーマンとして都内に通勤していたころは、市内に住んでいながら地域のことはほとんど知りませんでした。退職後、地域との関わりを持ちたいと思い、平成11年に資料館が初めて開催した市民学芸員養成講座に参加しました。そこで市の歴史を学び、翌年から縄文時代の遺跡である水子貝塚資料館の市民学芸員の一期生として登録、委嘱され、現在まで18年間活動しています。

市民学芸員は、水子貝塚・難波田城資料館で展示資料の解説や主催事業への協力を行う市民ボランティアです。水子貝塚資料館ではおよそ30人の仲間と、展示館や復元された竪穴住居のガイド、まが玉づくりや火起こしといった縄文体験の指導などを行っています。

事業を手伝うだけでなく、来館者が楽しく学習できる新たな体験メニューを資料館に提案することもあります。秋に収穫した木の実で作る「どんぐりクラフト」や「貝のブレスレット(腕輪)づくり」は、土・日曜、祝日に行う体験メニューに採用され、幅広い世代から人気を集めています。

また、各地の博物館や事業に参加して、新しい知識や技術を習得することも大事な活動です。新情報を取り入れた展示ガイドや体験の完成品に喜ぶ子どもの笑顔、そして「ありがとう」のひと言は、活動の喜びを膨らませてくれます。

現在、3年に1度の市民学芸員養成講座が開催され、春には新たな仲間が加わります。資料館と来館者の橋渡しとして、仲間と喜びを分かち合いたいと思います。



小学校の校外学習などでもガイドを行う

手話で楽しもう

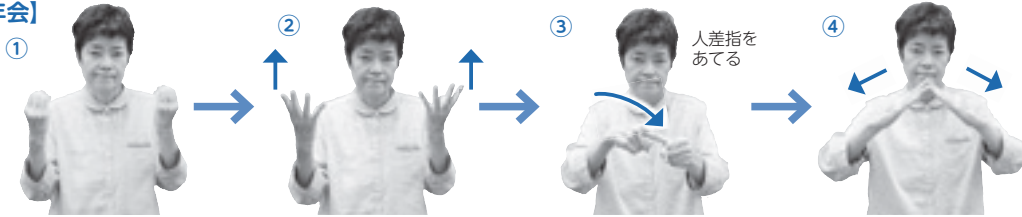
問合せ/障がい福祉課 ☎327



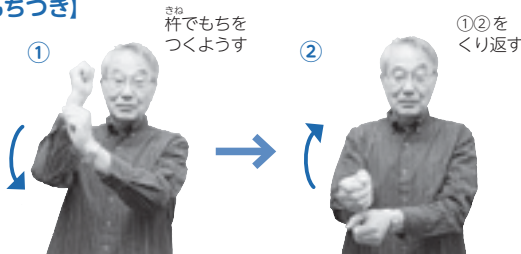
※下記に掲載の写真から、AR動画が見られます。AR動画の利用方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



【新年会】

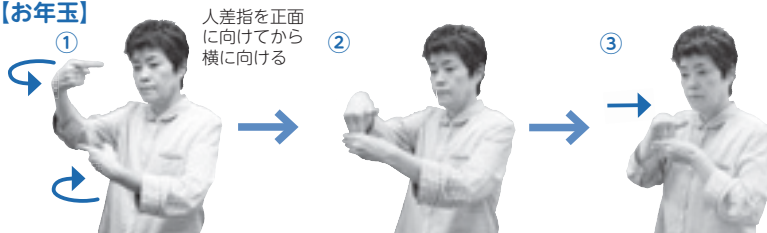


【もちつき】



動画の中での新年のあいさつのようす

【お年玉】



このコーナーでは、日常生活で使える手話を紹介しています。手話が身近な言語となるよう、皆さんも一緒にやってみましょう！ ※紹介している手話は動画でもご覧になれます。今月は、市長と富士見市聴覚障害者の会・富士見手話サークルの皆さんから新年のあいさつもあります。